



1. 地上部の全景 2. 周辺と地下部のパース 3. 施工部の全体断面図

相鉄東急直通線 新横浜駅地下鉄交差部土木工事 概要

- 所在地 神奈川県横浜市港北区新横浜3丁目7番地先
- 施設管理者 (株)鉄道建設・運輸施設整備支援機構、横浜市交通局
- 設計者 八千代エンジニアリング(株)、日本交通技術(株)
- 施工者 鹿島・鉄建・不動テトラ・NB建設共同企業体
- 関係者 オックスジャッキ(株)、東亜利根ボーリング(株)、協拓建設(株)、ケミカルグラウト(株)、寺尾運輸興業(株)、(有)新光工業、タイヨー建設(株)、高幸建設(株)
- 着工日 2013年4月13日
- 竣工日 2022年1月31日



詳細や他の写真などは
左記の二次元コードからWebページに
アクセスしてご覧ください。

体の健全性確保を実現した。
本工事は、「営業線地下駅の下に
新駅を短工期でつくる」という極
めて難易度の高い施工を、開削工法
とNATM工法、先進的なアンダー
ピング制御方式を組み合わせた
創意工夫により成し遂げた取組み
が評価され、日建連表彰土木賞に
値するものと認められた。

日建連表彰2022



第3回土木賞

相鉄東急直通線 新横浜駅地下鉄交差部土木工事

受賞理由

本工事は、神奈川県中部と東京
都心部を鉄道で直結させ、利便性向
上、地域の活性化を図ることを目的
とした相鉄・東急直通線整備事業
において、横浜市営地下鉄新横浜駅
の直下に相鉄・東急直通線の新駅
を築造する地下鉄交差部工事であ
る。重量六、八〇〇トの営業線地下
鉄駅躯体を二四個のジャッキで支え
てアンダーピングし、更に地上の
円形歩道橋も仮受けしながら地下
三三層まで掘削し、RCの地下四階
建ての新駅構造物を構築した。

工事箇所は、一日当たり六万台
以上の車が往来する新横浜駅前の
幹線道路交差点、かつ大規模円形
歩道橋直下という厳しい施工環境
下で、既存駅と新駅が交差する区間
の大規模アンダーピングの実現と
東京五輪前の早期開業に向けた約
二〇カ月という大幅な工程短縮に
向けて、様々な取組みを実施した。
当初計画では、既存駅躯体の周
囲地盤の掘削完了後に掘削を一旦
止めて躯体底部に導坑を掘削し、仮
受け杭を設置する手順であったが、
工期短縮のため、地上からの土留め
掘削と並行して、地下鉄躯体底部に
アクセスするNATM導坑を掘削
し、仮受け杭設置を先行するという
前例のない大胆な施工手順を採用
した。

既存駅躯体の仮受けと周囲地盤
掘削を並行して行う場合には、躯体
に作用する荷重が大きく変化する
ため、地下鉄運行に支障をきたさな
いように精度の高い変位制御が求
められた。これに対して、国内で初
めて「アンダーピング変位・荷重
自動制御方式」を採用した。また、
CIMによる見える化技術も活用
したリアルタイム管理により、列車
走行性の確保のみならず、地下鉄駅

土木賞

土木賞は、募集の前年末までに概ね竣工した土木分野のプロジェクト・構造物を対象に、事業企画、計画・設計、施工、及び維持管理などに
関する総合評価により選考を行います。選考に当たり、特に、施工プロセスの視点(施工プロセスの改善、良質な社会資本の効率的創出、土木
技術の発展・伝承など)を重視しています。

【日建連表彰2022 第3回土木賞受賞プロジェクト・構造物】 一般国道40号 音威子府村 音中トンネル工事 / 千本ダム耐震補強改修プロジェクト / 相鉄東急直通線 新横浜駅地下鉄交差部土木工事 / 高尾川地下河川整備事業 / 東京臨海臨港道路南北線沈埋(4号函・5号函・6号函)製作・架設等工事 / 東京メトロ銀座線渋谷駅移設工事 / 東北自動車道 十和田管内高速道路リニューアル工事 / 発電所水圧鉄管路のTBMによる斜坑掘削プロジェクト(神流川発電所) / 阪神高速12号守口線床版更新工事 / 山須原発電所ダム通砂対策工事 / 【特別賞】史跡鳥取城跡擬宝珠橋復元工事 / 【特別賞】浜松市沿岸域津波対策施設整備事業 浜松防潮堤建設工事